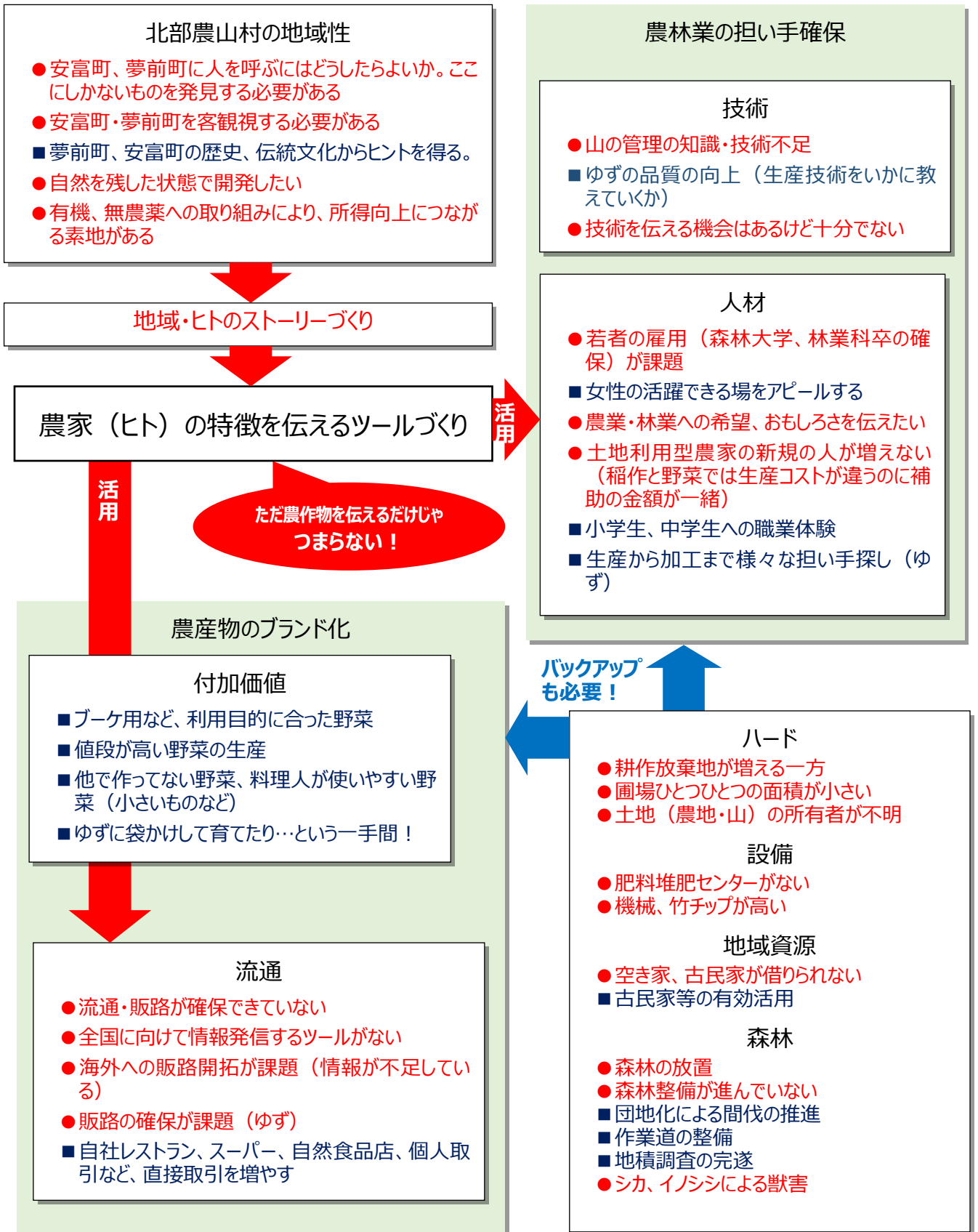


地域イメージの向上に向けた担い手同士の連携





人づくり (拠点づくり)

世代間の交流・役割づくり

- 世代間交流のあり方が課題
 - どうやって若い人を巻き込むか！
 - 各世代の問題点が共有されていない
 - 高齢化により地域の担い手がいない
 - 地域内のコミュニティの希薄化 (行事の参加に消極的)
 - 意識変革 (あきらめない！)
 - 顔の見えるコミュニティづくり
 - 若い世代に任せる
 - 子どもの参加を促進→親世代も参加する (まずは参加してもらうことで、意識を変える)
 - 既存行事とのコラボイベント (町外組織との連携)
- ※ただし一時の賑わいではだめ。継続した取組が夢前を身近に感じてもらえる。



コーディネーターの活用

- 地域内と地域外を結ぶコーディネーターの活用

移住するにも
仕事が必要！

仕事づくり

- 農業拠点施設 (農業をする若い人を育てる施設等が必要)
- I Tなどを活用した仕事であれば、居住地を選ばない。(例えば、インターネットの使い方を教える講師の仕事など)
- スマートICの活用

交流・定住人口の増加に向けた体制づくり

魅力ある教育・自然環境の活用

- 筋野小学校では、少人数でしっかりとした教育が行われている (それを強みに！)
- 豊かな自然環境が残されている
- 全国的に課題は一緒。成功している行政の取り組みも参考に進めるべき！
→例えば、通学区域制度の弾力的運用をしている養父市の小規模特認校制度
- 豊かな自然を活かした取組
→最近の子ども達は自然と触れ合う機会が少ない。
→夢前の自然が姫路の都市部の子どもを救う！という気概を持って良いのでは？



強みを活かす！

定住促進

- 子育て世代の定住が鍵！
- 空き家・休耕田の増加
- 家・農地を売ることに対する抵抗感がある
- 定住化に向けたメリットある支援
- 空き家・農地を活用した移住支援



弱みを克服する！

安心して暮らせる環境づくり

- 国道もない、鉄道もない
- バスの便数確保、バスに代わるものが必要
- 店 (衣、食) がない
- 高齢者の生活を守る
- 道路の拡充整備
- 駅前に駐車場を整備 (→姫路までの通勤が容易となる)

情報発信

- 構想・計画の周知が不足している
- 議論だけで終わらない。次年度に継続、実行！
- 市役所で活性化を担当する窓口がわからない
- 人が集い、情報を共有できる拠点が無い
- 動画によるPRの実施
- 新しい魅力の創造

